

十月十三日

曇天

衛前鎮より
新倉鎮より

一午前五時三分諸隊ハ衛前鎮西端ヲ先頭トシ集合

同六時出發新倉鎮ニ向フ道中、巾一米内外ニミテ車輛ノ通過困難
ヲ極ム、午前八時頃新倉鎮アリテ戰鬥準備中午後三時十五分小
林大尉ヨリ新倉鎮後方千米位ニアリテ聯隊機關銃及大行李
ハ敗殘兵ノ射撃ヲ受ケ危険ナル報告アリ直チニ第八中隊中村小
隊ヲシテ急援セシム、

午後四時三分第三大隊ヲ前衛トシ、
フ、日既ニ翌シ午後五時東方附近ニ於テ陣地ニ據レル敵ノ急射ヲ
受ケルモ前衛之ヲ竟トセズ極力前進敵前數十米迄近接之ト交
戦スルト虽モ四里橋敵陣地前ノグリークハ橋無ク歩兵第
十六聯隊ノ一部重機関銃ヲ攻撃スレド成功セズ停止シアリテ正面攻
撃ノ不到ナルヲ知リ一部ヲ正面ヨリ主力ヲ以テ敵ノ左翼ヨリ包圍攻撃

聯隊主力亦極力敵ヲ撃退セント勉メタルモ暗黒ノタメ敵情地形
不明ニシテ遂ニ別紙要圖(如左)ニ依リ敵ト待對シマ、
夜ヲ徹ス

歩作命第^二號

歩兵百五十聯隊命令

十月十三日午前四時
於衛前鎮

一 敵情及友軍ノ狀況ニ四師團作命甲第一ニ號ノ如シ

旅團ハ新倉鎮ニ兵力ヲ集結シタメ本十三日早朝出陣衛前鎮

一 新倉鎮道ヲ新倉鎮ニ向ヒ前進ス

ニ 聯隊ハ旅團本隊トナリ前記道路ヲ新倉鎮ニ向ヒ前進セムトス

三 第六中隊(即チ)小隊工兵小隊ヲ屬スハ旅團命令ニ依リ前衛司令

官ヲ命ゼラル

午前五時三十分衛前鎮西端五ノ米地点ニ集合スベシ

四 亦余ノ諸隊ハ午前五時三十分左ノ如ク集合スベシ

0150

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

二、聯隊ハ新倉鎮広陳鎮ヲ連ルグリ、山東鎮南方クリクヲ含ハ
地區道路、偵察ヲ實施セントス

三、村上少尉ハ將校トテ、部下ニテ分隊ヲ以テ四里橋金家ヲ連ヌルクリ
一クノ通路ヲ偵察スベシ

四、廊下鎮ニアル第七中隊ハ速カニ本隊ニ復歸余ハ指揮下ニ入ル可シ
五、余ハ新倉鎮小學校在リ

聯隊長

山 本 中 佐

下直後

命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

歩一五作命令第 号

歩兵百五聯隊命令

十月十日前十時三十分
於新倉鎮

一、第一大隊長ハ自今、前衛司令官ニ任命セラル、等、依而特ニ
新倉鎮——広陳鎮道カ、広陳鎮西南方ニ通ズル諸道路
ヲ偵察シ置ク可シ

二、各隊ハ何時モ出發ニ得ル如ク準備ヲナシ置ク可シ

手午後三時より新倉鎮後方より米附近より修彈藥小
隊斜右方より敵射撃口後方前進困難なりト報告接
聯隊長より第八中隊中村ハ隊より林機赴カシム
步兵隊命令 号

歩兵百五十聯隊命令

十一月十三日午後四時
於新倉鎮

ハ敵情省略

旅團ハ殘敵ヲ掃蕩シ、新倉鎮四里橋廣陳鎮道ヲ廣
陳ニ向ヒ前進シ平湖以地敵主陣地ハ敵情ヲ觀察ス

ニ聯隊(第八隊主カク)ハ旅團本隊トナリ左記序列ヲ以テ旅團司
令部ノ後方廣陳鎮ニ向ヒ前進ス

口通信 IMG IA RMG 古

三II(カ)ハ依然前衛トス

四各隊ハ前進間四圍ニ對シ警戒ヲ嚴ニナラシムヘシ

0153

五、第八中隊中村小隊ハ聯隊末到着部隊ヲ掩護シ、後聯隊進
及スヘシ、

六、余ハ聯隊ノ先頭ニ在リテ前進ス

聯隊長 山 本 中 佐

歩兵百五十聯隊命令 号

歩兵百五十聯隊命令

十一月十三日午後十時三十分
於四里橋東側

一、敵二部ハ尚四里橋占據シアリ

旅團ハ現在ハ態勢ヲ以テ兩後ノ攻撃ノ爲敵情地形ヲ搜索ス

二、聯隊(豫茲隸下聯隊)ハ現在ハ位置ニ集結シ敵情地形ヲ偵察
セントス、

三、前衛(歩兵大隊全隊)ハ四里橋ノ敵情及前方クリークノ情況ヲ
偵察スベシ、

四、第四中隊ハ一小隊ヲ右前方(現地ニテ指示)陣地ヲ偵察後該

陣地上ニ監視矢ヲ配置シテ其後方ニ集結、中隊主力ハ口ノ位置ニ
集結第七中隊ト連繫スベシ

五、MGハ右前方林方向ヲ射撃スル如ク陣地ヲ占領スベシ

六、JAハ後方クリークノ後方ニ集結シ四圍ヲ警戒スベシ

七、RMGハ一小隊ヲ右前方第四中隊ノ小隊ノ中間ヨリ右前方ヲ側射
シ得ル如ク占領スベシ

八、通信班ハ聯隊本部ト旅團司令部第三大隊間ノ有線連絡ヲ任
ズベシ

九、爾余ノ部隊ハ後方ニ集結スベシ

一〇、余ハ四里橋東側地區ニ在リ

聯隊長 山 本 中 佐

下達法命令受領ヲ集メ口連筆記セシム

ハ午後十時頃廊下鎮ニ出シタル第七中隊將校有候復歸ス

同地附近ニハ土民ノミテ敵影ヲ見スト、

ニ本日ノ戦斗ニ於テ第七中隊歩兵伍長牧内操戦死ス

當聯隊上陸以來最初ノ犠牲者ナリ

歩兵第一八旅團命令要旨 十一月三日午前三時三十分
於衛前鎮

一、奥旅團長ハ新倉鎮ニ兵力ヲ集結シ、本十三日早朝出發、衛前鎮ニ

新倉鎮道ヲ新倉鎮ニ向ヒ前進セムトス

ニ、歩兵第一中隊ノ一小隊（MG一小隊、P一小隊屬ス）ハ前衛ナリ、午前六時其

先頭ヲ以テ衛前鎮西方五〇〇米ノ地点ヲ出發シ、得ル如ク路上ニ集合ス

ベシ、

三、尔余ノ諸隊ハ此ノ中隊ニ残余ハ、順序ニ午前六時前衛ノ

後方路上ニ集合スベシ、前進間ニ於テ本隊トノ巨高ハ約三百米ト

ス、前進ノ時機ハ別命ス

四、各隊ノ車輛ハ此ノ順序ニ午前六時五分各隊ノ宿居地内ニ於テ

適宜集合シルヨリ出スル將校(氏名ハ追而示ス)ノ區署ヲ以テ本隊後
方ヲ近ク續行スベシ

車輛集合ノ際諸隊通過ノ爲道路ノ側ヲ開放シ置クベシ

步兵一旅團命令要旨 十一月三日午前八時十分
於新倉鎮

一旅團ハ現在地ヨリ西方及西北方ニ對シ進出スル爲必要ナル準備ヲ
爲サトス

二、1500ハ新倉鎮廣陳鎮ヲ連スルクリクハ山東鎮南方クリクヲ含む地區
ノ道路偵察ヲ実施スベシ

特ニ四里橋金家ヲ連スルクリクノ通路ヲ偵察スヘシ、

三、廊下鎮ニアル第七中隊ハ九所屬ニ復歸セシム

旅團命令要旨 十一月三日午前十時十分
於新倉鎮

一、步兵第百五聯隊第三大隊ハ今午前司令官ニ任命取ル警ニ付キ
特ニ新倉鎮―廣陳鎮道及廣陳鎮ヨリ西南方ニ通スル道路
諸

ヲ偵察シ置クベシ、

ニ何時モテモ出祭_ニ得ル様準備_ニ置_ク事、

旅團命令要旨、

十一月十三日午後三時
於新倉鎮

一、旅團ハ殘敵ヲ掃蕩シ、新倉鎮―四里橋―廣陳鎮道ヲ廣

陳鎮ニ向ヒ前進シ平湖以北敵主陣地ノ情ヲ偵察ス

ニ、¹⁵⁰五(カ)ハ依而前衛トス、

三、尔余ノ諸隊ハ一、小隊々々ノ殘余ハ、順序ヲ以テ廣陳鎮ニ

向ヒ前進スベシ

四、各隊ハ前進間四圍ニ對シ警戒ヲ嚴_クラシム可シ

步兵第一二四師團作命甲第_{十三号}

十一月十三日午後九時
於新倉鎮師團司令部

一、師團當面ノ敵情ハ其後大ニ變化ガシ

秋山部隊ハ本日夕刻迄ニ官堂、新倉鎮西方約千米ノクリークレノ

線並斜勤橋ノ線ニ進出シ同地ヲ確保シアリ。

明朝次後海軍ノ艦艇並ニ航空隊ハ當師團ノ戰鬥ニ密接ニ協力ス
ル也

ニ師團ハ明ヨリ拂曉當面ノ敵ヲ攻撃セントス

三秋山部隊ハ昨夜遂次其ニ線ヲ進メ明拂曉ヨリ一部ヲ以テ四里橋
趙家橋鎮ノ中間地區ヨリ當面ノ敵ヲ攻撃シ主クヲ以テ金
家西南方地區ヨリ四里橋附近ノ敵ヲ背後ニ遠ク迂回スル如
ク廣陳鎮西北側地ニ向テ攻撃前進シ廣福橋ノ名寺圩
ノ線ニ進出スベシ

四奥旅團ハ明拂曉行動ヲ開始シ其矢力ヲ新倉鎮ニ集結ス
ベシ、

五、浅野部隊ハ明拂曉ヨリ射撃ヲ開始シ主クヲ以テ秋山旅團
ノ攻撃ニ協力シ一部ヲ以テ趙家橋鎮以南ノ敵陣地ニ其ノ
迫撃砲ヲ射撃シ師團ノ右翼ニ掩護スベシ

密ニ第一線部隊ト連絡スルヲ要ス

又、観測班ノ一部ヲ以テ海軍ハ射撃ヲニ協カスベシ

六、歩兵第六十六聯隊第一大隊ハ一中隊ヲ以テ之ガ直接掩護ニ任セシメ、余ハ新倉鎮ニ位置スベシ

右小隊ハ明拂曉出奔、原所屈ニ復歸スベシ

七、奥隊團ノ一中隊(歩兵)ハ依然揚合家曹家街ヲ占領シテ前任ヲ續行スベシ

特ニ敵情ヲ監視シ其ノ退却ヲ察知セバ直チニ追尾シ前進スルヲ要ス

其一部ヲ以テ海軍ノ通信所ヲ掩護シ師團司令部ト連絡ハ海軍通信所ヲカシ実施スベシ

八、工兵第百十四聯隊ハ新ニ其ノ第三中隊(示隊欠)ヲ秋山部隊ニ増加配属スベシ

九、独立工兵第一聯隊第一中隊ハ輕渡河材料ヲ泛水シテ新倉

鎮ニ位置シ待機スベシ

密ニ秋山部隊ト連絡スルヲ要ス

一、師團通信隊ハ師團司令部ト秋山、奥西旅團間ノ無線有線連絡ニ任シ、余ノ部隊ハ新倉鎮ニ位置スベシ

但ニ奥旅團ノ有線連絡ハ今旅團新倉鎮進出後トス

二、無線電信第四十六隊ハ前任務ヲ續行スベシ

三、鳩分隊ハ新倉鎮ニ位置スベシ

三、衛生隊ハ三分ハ新倉鎮ニ繙帶所ヲ開設スベシ

爾余ノ衛生隊ハ主カヲ以テ明十三日新倉鎮ニ向ヒ前進シ待命スベシ

四、第二第三第四野戦病院ハ明十三日大平橋ニ前進待命スベシ
五、本夜以後ノ給養ハ各隊ノ直接調辦セシ糧秣ニ依ルベシ

十月十四日
晴天
四里橋ヨリ
廣陳鎮ニ
至ル

聯隊、午後一時十分諸準備後、順路ヨリ以テ市街ヲ出テ
攻撃前進、開始ニ午後三時十分早ニ一部ヲ以テ四里橋ノ敵ヲ突
入、力ヲ以テ東北地區ヨリ廣陳鎮ニ向ヒ前進ス

午後四時十分旅團ハ步兵第百五ノ聯隊ノ第六中隊ヲシテ現地ニ残置
シ主力ハ敵ノ左側背ヲ攻撃スルニ決シ、順路ニテ新倉鎮ニ
一三官堂方向ニ轉進シ

午後八時十分三官堂ニ到着路中一歩足ラズ馬匹車輛通過困難
ナリ、以テ遂ニ聯隊機關銃中隊ハ彈藥小隊ヲ新倉鎮ニ残置スルニ決
シ、力ヲ以テ前進ス

聯隊、諸準備後、市街中出テ敵ヲ攻撃掃蕩、廣陳鎮ニ向
ヒ前進ス

交戦セシ地區一帯ハ敵敗走ニ際シ到ル所民家ニ放火シ家財ヲ掠

奪逃走セルヲ以テ実ニ慘憺ナル光景アリ、
中國正規軍ノ此ノ横暴憎ムベシ

午後七時頃廣陳鎮東北普照寺附近ニテ友軍ノ射撃ヲ受ケ次ニ前進
先ヨリカナル敵ニ遭遇シ、之ヲ待對シマ、夜ヲ徹ス。此戰鬥猛烈ヲ極メ敵ハ
多勢ヲ頼ミ逆襲シ来レドモ、遂ニ之ヲ撃退シ翌日ノ戰鬥ヲ有利ニ導キ
タリ、

歩五〇作命令第 號

歩兵第百五十一聯隊命令

十一月十四日午前四時
於四里橋東側地区

一敵情既ニ知ル通り

二聯隊主力ハ敵ノ左側背攻撃ノ目的ヲ以テ南部ニ官堂ニ兵力ヲ集結
セントス

三第一線(第六中隊欠)ハ現在、線ヲ徹シ完善橋ニ集結ス

四第六中隊ハ歩兵第百六十六聯隊ノ部隊ト協力シ現在、線ヲ確保シ

主力ノ轉進ヲ掩護シ最後ノ攻勢ヲ準備シアルベシ、

五、余ハ午前四時三十分完善橋ニ在リ

聯隊長 山本 中 佐

下達法第六隊ノ要旨ヲ傳ヘタル後、命令受領者ヲ集口連筆記

歩五〇作命第 号

歩兵第五十聯隊命令

十月十四日午前九時
於三官道

一、敵情 敵ハ依然四里橋ヲ固守シ在ルモノ、如云、

二、旅團ハ依然前任務ヲ達成スルヲ當面ノ敵情地形ヲ搜索セン

トス

三、聯隊ハ旅團命令ニ基キ三官堂北端―四里橋西北端ニ并ノ

グリークノ交叉点陸宇圩西端ヲ連ヌル線ノ以南ノ敵情地形

ヲ搜索セントス、

四、服部准尉ハ將校候補トナリ三官堂―四里橋ニ通スル進出路並

四里橋ノ敵情搜索ニ任スベシ

五、余ハ三官堂南側ニ在リ

聯隊長 山 本 中 光

下達該命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

歩五〇作命第 號

歩兵第百五十聯隊命令

十月十四日午後一時
於三官堂南端

一、敵情既ニ知ル通リ

二、聯隊ハ一部ヲ以テ四里橋部落ヲ掃蕩シ主力ヲ以テ四里橋北方地區ヲ

迂回シ廣陳鎮西端ニ進出セントス

三、第六中隊ハ東部四里橋部落ヲ掃蕩廣陳鎮ニ向ヒ進出スベシ

IMGヲシテ之ニ協力セシム

四、66部隊ハ西部四里橋ヲ掃蕩廣陳鎮ニ進出スベシ

五、掃蕩隊ノ攻撃開始ハ午後三時トス

六、BAS中隊ハ午後三時迫四里橋ノ敵ヲ射撃スベシ

爾後敗走スル敵ヲ射撃

七、第三大隊(一二六)ハ妮姑菴ヲ經テ廣陳鎮ニ至ル可シ

八、爾余ノ部隊ハ予ノ指揮ヲ以テ第三大隊ノ後方ヲ續行スベシ

聯隊長 山本 中佐

下達法、各隊長ニ要旨ヲ傳ヘ後命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

歩二五〇作命 第一號

步兵第百五十聯隊命令

十一月十四日午後六時
於普照寺東北方

一、廣陳鎮方向ノ敵ハ我進出ヲ妨害シツ、アリ

戰線ハ彼我錯綜シ、アリ

二、聯隊ハ現在地附近ニ兵力ヲ集結シ至嚴ニ警戒シ依リ夜ヲ徹セントス

三、第三大隊(一二六)現在地ニ陣地ヲ占領、廣陳鎮方向ニ對シ警戒スベシ

四、爾余ノ諸隊ハ左ノ如ク位置スベシ

0166

			五、各隊四圍ニ對シ特ニ警戒ヲ嚴スルニハベシ	聯隊長 山 本 中 佐	下達法令受領者ヲ集メ口達筆記セシム 日々命令 陸軍歩兵少尉 宮川 克 憲 右歩兵第百五聯隊第一大隊分任官陸軍主計少尉大野 香
--	--	--	-----------------------	-------------	---

0167

戦死付キ同官代理ウ命ス

旅團命令

十一月十四日午前三時五十分

- 一、歩兵第百五十一聯隊ハ南部ニ官堂道ニ兵力ヲ集結スベシ
- 二、集結地ノ警戒ハ其ノ周囲ヲ聯隊毎ニ直接警戒スベシ
- 三、其ノ他ニ関シテハ別命令ス

旅團命令要旨

十一月十四日午前八時
於ニ官堂南端

一、四里橋附近ノ残敵ハ昨夜未頑強ニ抵抗シ、アリ

歩兵第百六十六中隊及歩兵第百六十六中隊ハ目下クリークヲ経テ近ク

此ノ敵ノ對待シツ、アリ、

二、旅團ハ以前ノ任務ヲ續行セントス

三、歩兵第百六十六中隊及他編成故、如シテ歩兵第百六十六中隊ノニテ中隊及他

立山砲兵中隊ヲ屬ス、ハ四里橋ノ敵ヲ速クニ北方ヨリ包圍撃テ

滅シタル後、該村ヲ掃蕩シタル後廣陳鎮ニ向ヒ進出スベシ

0168

情況依り旅團一部之協力セシム

四歩(第1中隊欠其他編隊如シ)ハ近ク四里橋北方地區ヲ經テ廣

陳鎮ニ向ヒ進出スベシ

前進開始ノ時機ヲ午後一時トスルモ、更ニ別命ス

五、第1中隊及第4中隊ハ予備隊トス

六、予備隊ト共ニハ、後方ヲ前進ス

人員現況

將校	下士官	兵	計	乗馬	輓馬	駄馬	計	備考
九	一三	九三	一一五	一三	五二	七	七二	

砲兵准尉以櫻井米治以下大小行李班下士官兵七十名、本部、

指揮下ヲ離ル、

輜重兵特務兵中澤松雄公傷(上陸ノ際足部負傷)ノ爲入院

十月十五日

晴後曇

普照寺ヲ去リ

廣陳鎮西

側ニテ渡河

点ニ至ル

廣陳鎮西
近ニ戦ハ

一、廣陳鎮東側普照寺附近ニ昨夜以來對峙セシ敵ハ未明遂ニ其ノ陣地ヲ捨テ廣陳鎮方向ニ退却セリ、

昨夜以來旅團ト連絡シ得ガルヲ以テ午前四時出發旅團並ニ歩一五ヲ

搜索セシモノモ歸還ス大依ヲ独断ヲ以テ聯隊ハ午前八時半分出發

歩兵第百三十五旅團ト協力シテ廣陳鎮ノ敵ヲ包围攻撃スル爲普照寺

附近ヲ出發、廣陳鎮東北側ニ展開攻撃前進シ、夜半ノ壯烈ナル暴

撃ヲ誘導シ、歩兵砲ノ射撃ヲ開始シ敵ヲ敗走セシメ午前十時四分

戰終ル敵ヲ追撃中旅團命令ニ依リ廣陳鎮西方地區ヨリ前進シ午後三時

同地方約一五ヲ集結地ニ達ス

同時ハ澤少尉及林下中尉歸來シ旅團ニ追及ノ命令ヲ受テ渡河點

ヲ渡河セシメ、同地方約一五(吉野村東北方向約二三五)ノ渡河點ニ前進ス

新倉鎮ニ到着セル大行本ヲリ櫻井技術准尉連絡シ未ル聯隊長ハ道路

景況亦微大ニ行本ヲ隨從テ許リタルヲ以テ櫻井准尉ニ左ノ命令ヲ与

大小行李及残置勤務員ノ行動ヲ指示ス

命令

一 聯隊本部第三大隊大下行李及残置勤務員ヲ集結シ金山衛城一

金山道ヲ経テ此方得カレバ上海ニ回航シ本隊ヲ追及スベシ

ニ此状況上積載品及荷物ノ全部ヲ携行シ得カレシ致ルモ彈藥其他

戦斗上必須ノ資材ハ必ズ携行スベシ其他ニ關シテハ輸送力之ヲ許サ

サルに至ラハ適宜ノ處置ヲナス可シ

三 掩護ノ爲メ更ニ長以下七名ヲ屬ス

右件師團ト連絡スベシ

渡河掩護其他ノ準備ノ後午後七時半頃人員ヲ材料科^ハ網渡^ハ牛馬^ハ

游泳ニ依リ渡河ヲ開始シ幅約五^ハ米^ハノクリーク^ハレ通過終^ハハ翌午前

一時ヨリ午後十時頃旅團命令ヲ受領シ渡河終了地点ニ露營ス

ニ廣陳鎮以西ハ細路ニシテクリーク^ハレ概シテ大ニシテ橋梁乏シク橋梁ヲ

ルモ幅道路ヨリ狭ク車馬ノ通行言語ニ絶スル艱難ヲ経タリ
歩一五〇作命第十八端

歩兵第百五十聯隊命令

十一月二十五日午前八時
於普照寺東北方千米

一、廣陳鎮ニハ有カナル部隊アルモノ、如シ

二、聯隊ハ662及A部隊ト協力シ重点ヲ左翼ニ保持シ普照寺東北方

約千米無名部落ニ攻撃ヲ準備セントス、

三、第三大隊(十MG)平射一分隊屬ス)ハ第一線普照寺東北方無名

部落西端ヲ線ニ攻撃ヲ準備スベシ

四、A主力RMGハ第一線左翼後ニ陣地ヲ占領シ廣陳鎮ノ周家圩鎮

道方向ニ射撃ヲ準備スベシ

五、攻撃ヲ前進ノ時機ハ別命ス

六、第五中隊ハ予備隊第三大隊ノ右翼後ニ位置スベシ

七、通信班ハ五、聯隊本部間ニ有線通信網ヲ構成スベシ

八余ハ無名部落東端ニ至ル

聯隊長 山本中佐

下達法令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

歩兵第五作命第 號

歩兵第五十聯隊命令

十月十五日二十二時
於渡河原

一、當面ノ敵ハ陣地ヲ占領セタルモ本十五日夕退却リ撤リ

旅團ハ紅廟頭稜側地區ニ集力ヲ集結シ亦後ノ追撃ヲ準備ス

二、聯隊ハ旅團命令ニ基キ現在地附近ニ於テ至嚴ノ配備ヲ以テ夜

ヲ徹セントス

三、諸隊ノ配備要領要圖ノ如シ

各隊ハ四面ニ對シ嚴ニ警戒スルヲ要ス

四、給養ハ携行糧秣ニ依ル可シ

五、余ハ現在地ニ在リ

0173

聯隊長

山本 常 佐

下達法命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

普魯作命第 號

派兵第百廿聯隊命令

十月二十五日午後十一時
於渡河点

ハ平湖附近ノ敵ハ退却ヲ開始シ嘉興及平湖西方ニ向ヒ退却中嘉興ニハ敵ハ

師團主力方面ノ敵ハ既設陣地ニ據ルコトナク退却中ナリ

旅團ハ明拂曉出發紅廊頭ヲ經テ嘉興ニ向ヒ急進ス

ニ聯隊主力ハ前衛ヲ除クハ旅團本隊トナリ旅團ノ進路ヲ嘉興ニ向ヒ急進

セントス

三、II（6ク）ハ旅團前衛トナリ旅團命令ニ依リ行動スベシ

四、諸隊ノ行軍順序ヲ如シ

日 6ク MG 古 IA 45

五、余ハ聯隊主力ノ先頭ニ在リテ前進ス

0174

聯隊長

山 本 中 佐

下達法令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

旅團命令要旨

十一月五日午後九時五分
於廣陳鎮西北方四科

一歩兵百五聯隊ハ現在地ニ在リテ至嚴正配備ヲ以テ夜ヲ徹ス可シ

ニ予ハ歩一二五聯隊ノ直後ニ在リ歩一五〇聯隊ノ第四中隊ヲ予ノ下ニ

出セ

旅團命令要旨

十一月五日午後十一時
於廣陳鎮西北方四科

ハ1500Ⅱ(ミ中欠)ハ前衛トナリ明十六日午前 時出奔紅廟頭ヲ經テ

旅團進路ヲ嘉興ニ向ヒ前進スベシ

ニ示余ノ諸隊ハ左記順序ニ依リ其先頭ヲ以テ現在地北端ヲ出奔前

衛ノ後方五百米ヲ續行スベシ

4/15

☆

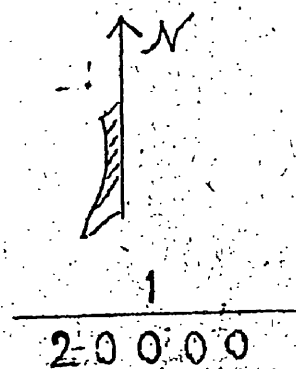
1500Ⅱ

(74)

0175

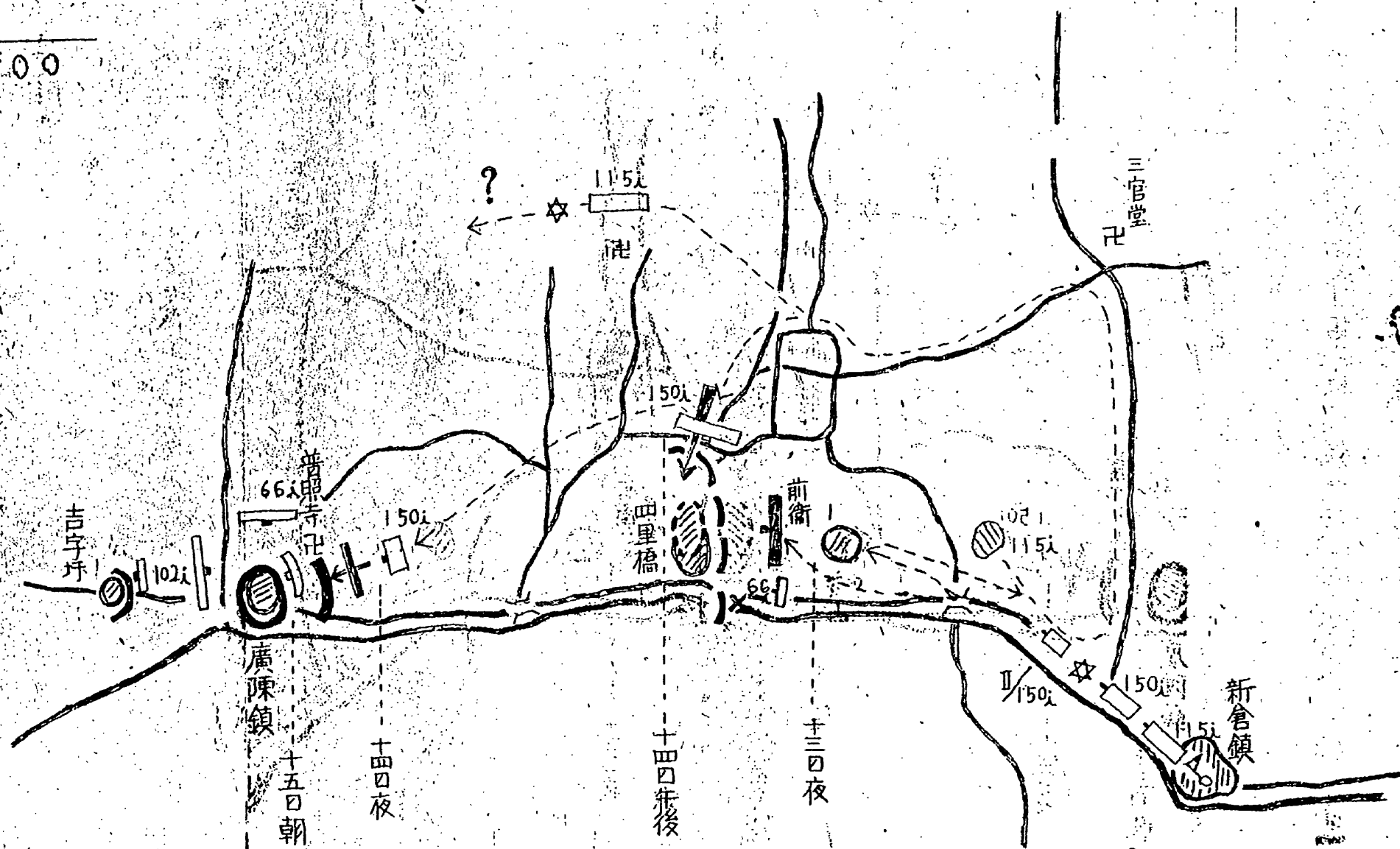
入馬現光		歩一五〇承部	
將校	下士官	兵	計
九	二	九三	二一四
輜重兵軍曹清水国雄指揮、高ル		乗馬	二
四里橋附近、戦斗		轎馬	/
一、戦斗開始終了日時		駄馬	七
自一月五日午後五時		計	九
至今十五日午前十一時四十分		備考	
二、彼我の兵力			
一、敵軍			
四里橋附近、約三〇〇			
口廣陳鎮附近			
二、友軍			
聯隊本部第一機銃中隊(急隊)第六隊			
聯隊機銃中隊、歩兵砲第一小隊			
三、戦死(將校一名、下士官兵一名)			

0176



圖要過經關戰近附鎮陳廣橋里四
 (時五後午四三十月一十自)
 (分十四時一十前午四五十 至)

別紙
 (-)



十月十六日
曇微雨
廣陳鎮西
渡河点より
紅廟頭附近
無名部隊と
戦ふ

Ⅱ主計少尉大野 喬

十一月十四日午後六、五戦死
廣 陳 鎮 東方 未

戦場者(將校一名、下士官兵五名)

ク歩兵少尉野原 清

十一月十四日午後七、四五戦場
十一月十五日 野原病院入院

一午前六時露営地出發、旅團ニ追及ス途中ニ於テ旅團長ヨリ、師團長以下
徒歩シテ以テ各部隊ハ東馬行李寺ノ前進ヲ遲滞スベキ馬車車輛等ヲ
残置セヨトノ指示ニ接スルモ聯隊長ハ近ク戦力展開ノ爲必要ナルヲ以テ萬難
ヲ排シ前進セシメタルモノナレバ眼先ノ利害ニ捕ハレテ全部同行ノ決心ナシ
見テ具申セルモ旅團命令ニテ止ムナク平射砲一分隊以外ハ九二式歩兵砲
小隊小行李、大行李、東馬寺ヲ伊藤少尉ハ指揮ヲ以テ引返サレモ聯隊長
以下徒歩ス、

附近ハ殘敵出現シ通路ハ一列縱隊ヲ以テ辛ジテ通過シ得ル程度ニテ兩
ノタメ泥濘甚カシク自轉車破壊用ヲサス、又押水車瀝水機等ハ既ニ

0178

衙前鎮附近迄ニ行動不能ニ留リ追隨シ得ズ却ツテ無益ノ勞カト兵カラ削
滅セラレ著シク作戰ヲ阻害スルタメ放棄ノ止ム無キ事情ニ至リシモノ多クハベ
シ

ニ午後一時十五分飛行機ノ通報ニ依リ第六師團ハ昆山ヲ第十八師團
ハ嘉興平望鎮ヲ占領セリト

午後二時^半紅廟頭附近ノ渡河点ニ達セシモ渡河設備未了ニテ約三時間
大休止ノ後人々舟ノ牛馬ハ泳游ニ依リテ渡河シ対岸無名部落ニ
露営ス

歩兵一五〇作命第號

歩兵百五十聯隊命令
十一月十六日午時六時
於廣陳鎮西方渡河点

ハ附近ニ敗慘ノ兵出沒スルノ状況ニアリ

ニ聯隊ハ今ヨリ旅團集合地ニ轉進セントス

ニ各部隊ハ尤ノ行軍序列ニ依リ現地ニ指示セル道路上ニ集合スベシ

四余八本隊ノ先頭ニ在リテ行進ス
 聯隊長 山中 佐
 下達命令受領者ヲ集メテ口達筆記セシム
 歩一五〇 日々命令 十一月十六日午前十時
 一馬匹(馬取扱矢及荷物行李共)及九一式歩兵砲ハ歩兵砲隊伊藤
 少尉指揮ヲ以テ昨夜渡河セル地点ニ集結シ新倉鎮上陸地ヲ經
 テ金山ニ到リ騎兵一八八隊ヲ指揮受クベシ
 歩五〇作命第 號
 歩兵第百五十聯隊命令
 十一月十六日午後四時三十分
 於紅廟頭渡河ノ時
 一前面ニ大ニ敵ナシ
 二紅廟頭渡船ハ午後五時五十分ヨリ午後七時五十分迄ノ間ニ現在ノ序列

ニ依リ渡河ハ、沮ノ川ノ南ニ成速ニ游泳ニ依リ渡河ヲ實施スル
ニ第四中隊及第六大隊ヨリ將校作候各一組ヲ（兵力一分隊）旅
團司令部ニ差出シ該副官ノ指揮ヲ受ケムベシ
四余ハ渡河点ニ在リ

聯隊長 山本 中佐

歩五〇作余第 號

歩兵百五十聯隊命令

三月十六午後七時三十分
於紅廟頭渡河点西方五〇米

ハ敵情既ニ知ル通リ

ニ渡河最終予定時刻ハ概ネ正午

ニ渡河終了後本部中銃隊毎ニ現在地集合シ先遣セシ下士官ノ誘

導ニ依リ各隊毎ニ嚴ニ警戒ノ上休憩スベシ

四渡河後ノ出隊ニ関シテハ別命ス

五第四中隊ハ速ニ前衛ヨリ連絡ヲ保持スベシ

六、余ハ渡河点西方五〇〇米ニ在リ

聯隊長 山本中佐

歩五〇作命第 号

歩兵百五十聯隊命令

十月十六日午後十時
於紅廟頭渡河点西岸

一、第四中隊より一小隊ヲ紅廟頭渡河点ニ残置シ旅團渡河完了時ヨリ

師團後續部隊ニ引継ガラル後聯隊ニ追及スベシ

ニ渡河材料監視ヲシ渡河点ニ残留セル工兵隊幹部(將校ヲ定メ)連

絡スルヲ要ス

聯隊長 山本中佐

下達該命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

歩兵一三八旅團命令要旨
十月十六日午後四時
於紅廟頭

一、紅廟頭渡船ハ別表時間割ニヨリ実施ス

ニ各隊(前衛共)ハ渡河場ニ於ケル工兵隊ト連絡シ別表時間割

ニ依リ渡河スベシ

三各隊ハ渡河開始迄現在地ニ於テ大休止ヲ実施スベシ

四歩兵第百五十聯隊ヨリ將校以下候ニ組ム余ノ下ニ出セ兵力約一ケ
分隊

五余ハ渡船場大塚屋ニ在リ

渡船時間割表

先遣隊

右三三〇
右四三〇

山本部隊

右五五〇
右七五〇

前衛

右四三〇
右五三〇

矢崎部隊

右七五〇
右九二〇

旅團

右五三〇
右五五〇

歩兵第一八旅團命令要旨

十一時後七時
於紅廟頭渡河点西方五〇米

一最終部隊渡河完了時刻ヲ以テ出發ノ予定該時刻ハ追而示ス

ニ出發迄各隊ハ所要ノ警戒ヲ行ヒ休憩スベシ

歩兵第一八旅團命令要旨

十一時後九時三十分
於紅廟頭渡河点西方

歩兵第百十聯隊より一隊ヲ紅廟頭渡河点ニ残置ニ當旅團渡河了時ヨリ師團後續部隊到着迄同渡河点渡河材料ノ監視ニ任ゼンムベシ同小隊ハ師團後續部隊ニ引テ離ガレル後旅団追及ス

ベシ

渡河材料監視爲渡河残留点ニ残置セル部隊幹部(將校)ヲ

連絡スルヲ要ス

歩兵百十八旅團日々命令

十月十六日午前七時

馬匹ハ馬取扱兵共及荷物類共ヲ昨十五日渡河セル地点ニ各隊毎ニ集結セシメ先任者ノ指導ヲ以テ新倉鎮上陸地ヲ經テ金山ヲ

列リ騎兵第二八大隊長ノ指揮ヲ受ケシム可シ

各隊毎ニ護衛兵一隊ヲ附スベシ

注意本十六日ヨリノ行動ハ馬匹ヲ隨後ヲ許サレル狀況ナリ

人馬現況

歩一五〇本部

0184

十月十七日

雨天

紅廟頭渡河
渡り去り沈
家塚に至ル

大通橋鎮附
近、戦斗

將校

下士官

兵

計

乗馬

輓馬

駄馬

計

八

一三

七九

九九

/

/

/

/

獸医少尉山崎照門以下、下士官兵十五名本部ノ指揮ヲ離ル

一、午前七時宿营地出発、朝ヨリ霧深ク晝頃ヨリ雨トナル中ヲ師團長旅團

長以下徒歩ヲ以テ道巾約五十種位ノ泥濘ヲ唯磁石ヲ便リニ西北ヲ差シテ

楓經鎮ヲ目標ニ前進ス

歩二五〇作命第 号

歩兵第百五〇聯隊命令

十月十七日午前五時
於紅廟頭渡河点

一、嘉興附近、敵ハ西南方ニ退却セリ第六師團ハ第一線ヲ以テ嘉興

東側地區ニ進出入

集團ハ嘉興附近ノ敵ヲ追撃シタル後速ニ南京ニ向フ追撃ヲ

準備ス師團ハ軍命令ニ基キ楓經鎮ヲ經テ嘉興ニ向ヒ急進ス

旅團、師團命令ニ基キ進路ヲ變更シ楓経鎮ニ向ヒ急進ス

二、聯隊ハ現在ノ行軍序列ヲ以テ午前六時三十分迄ニ集合シ楓経鎮ニ向ヒ急進セントス

三、各隊ハ聯隊本部ト密ニ連絡ヲ保持シ逐次行軍序列ニ入ル可シ、
四、余ハ午前六時十分宿営地北端ニ在リ

聯隊長 山本 中 佐

下達法令受領者ヲ集メテ連筆記セシム

二、午後二時三十分頃大通橋鎮ニ在リカルヤ斜方方面ヨリチエリ機関銃ノ射撃ヲ受ケ前衛ハ直チニ之ト應戦約三十分シテ撃退シ前任務ニ向ヒ急進ス、途中敗残兵出沒シ警戒ヲ嚴シ午後七時沈家坂ニ到着露営ス

所見

一、宿営及徵集ニ依ル給養

0186

一、本作戦地ノ如ク到ル處村落アリ亦葉等イル地方ノ作戦ハ各人支給
ノ毛布ハ各人携行ノ要ナク冬季追送セバ可ナリ

二、微霰が適時出来得ル状態ニ在リハ大小行李及携行口糧ヲモ
必要トセズ後方ノ顧慮ヲ除キ輕装セシメ輕快ノ作戦行動ニ適セシム

三、道路不良ニシテ到ル所クリーク存在スル當地方ノ作戦ハ重火器、行李等
車輛編成ヲ不適當ト認ム之等ハ総テ駄載編成ニスルヲ可トス

歩五〇作命第 號

歩兵第百五十一聯隊命令

十一月十七日午後九時
於沱沱城南側

一、敵敗残兵ハ現在地附近ニ出沒シ至嚴ル警戒ヲ要スル情況ニ在リ、

旅團ハハ南路營區¹⁵⁰⁰（司令部^{含ム}）ヲ北露營區トシ前衛ハ

北方約千米ノ無名部落ニテリテ特ニ¹⁵⁰⁰ハ前方及右方向ヲ警戒シ現

在地ニ露營ス

二、聯隊ハ旅團命令ニ基キ現在地附近ニ露營セントス

三、各隊ハ森下中尉ノ區署ニ依リ露営スベシ、

四、露営日直將校

野口 中尉

巡察將校

町田 少尉

五、警戒ニ関シテハ露営日直將校ヲシテ指示セシム

特ニ工事ヲ各隊ニ實施スベシ、

六、給養ハ環地徴辦ニ依リ實施スベシ

七、出發ハ明午前六時三十分ト予定スルモ別命令

ハ、余ハ現在地ニ在リ

露営司令官 山本 中佐

下達法命令受領者ヲ集メテ口達筆記セシム

歩五〇作命第 號

歩兵百五ノ聯隊命令

十一月十七日午後五時
於沱家坂南側

一、敵ニ関シテハ新報ヲ得ズ、

旅團ハ師團命令ニ基キ明十八日午前六時十分宿营地出發、楓經鎮ニ
向ヒ急進ス。

二聯隊ハ本日ノ行軍序列ヲ以テ聯隊露営地北端ヲ先頭トシ午前六時〇
分迄ニ集合ヲ終リ、楓經鎮ニ向ヒ急進セントス。

三谷隊ハ聯隊本部ト密ニ連絡ヲ保持シ逐次行軍序列ニ入ル可シ

四余八年前、時分宿营地北端ニ在リ

聯 隊 長 山 本 中 佐

下達法 命令受領者ヲ集メ、中達筆記セシム

旅團命令要旨

十一月十七日午前四時三十分
於紅廟鎮對峙西方一〇〇〇米

ハ前衛ハ午前七時前衛本隊ノ先頭ヲ以テ前衛本隊現在地ヲ出發シ先遣隊

ノ進路ヲ楓經鎮ニ向ヒ急進スベシ

出發ニ際シテハ本隊ト密ニ連絡スベシ

ニ本隊ハ前衛ノ後尾ヲ先頭トシ行軍序列ニ隨ヒ午前六時五十分迄ニ行進路

上ニ進合スベシ

旅團命令要旨

十一月十七日午後八時三十分
於沈家坂南側

一前衛ハ前方部落附近ニ停止シ警戒ニ任ズベシ

ニ本隊ハ別ニ示ス配宿依リ現在地ニ露營スベシ、露營地ニ於ケル警戒ハ
各隊毎ニ実施スベシ、

旅團司令部ハ歩兵百五十聯隊ノ露營地ニ合シ

三明日午前衛ハ午前六時三十分其先頭ヲ以テ警戒線ヲ出奔シ得ル如ク、

本隊ハ午前十分其先頭ヲ以テ本十七日ノ行軍序列ニ随ヒ歩百五十露

營地北端ヲ出奔シ得ル如ク路上ニ集結スベシ

人馬現況

歩一五〇本部

將校	下士官	兵	計	乘馬	鞍馬	駄馬	計	備考
八	一二	七九	九〇	/	/	/	/	

0190

所見

一行軍ノ負擔量及ビ靴ニ関スル所見

今圓ノ如キ一々聯隊カ終始一列側面縱隊ヲ以テ行軍シ且泥濘ナル細路ニシテ兵ノ負擔量ハ非常ニ重量ナルガ爲行軍意ノ如クナラズ、唯徒ラニ疲勞シ戰鬥力ヲ減耗スルノミニシテ又靴ハ革堅クナリ足ヲ痛ムルモノ續出セリカハル狀況ノ行軍ニ在リテハ負擔量ヲ最少限ニ減少シ保革油ヲ多量ニ拂行スルヲ可トス

ニ行軍ニ依ル落後日ハ連ト難行軍ヲ繼續セルモ行軍力強キ當聯隊ハ落伍者多カラズ、

敵中泥濘ノ惡路ニ於テ兵ノ落伍ヲ出ワリシ中隊ニ於テ軍大部隊ノ通過セル水道上ニ未リ落伍セルモノヲ見シハ在郷兵ノ体力及精神ノ弛緩ニ因スベシ

(分十三時二後午日七十月一十年三十和昭由) 至

(分十三時二後午日七十月一十年二十和昭由)
時三後午 " 至)

